



福井県の グリーンボンド インパクトレポーティング

令和7年9月

もくじ

1 福井県の目指す姿

- | | |
|------------------|---|
| (1) 福井県長期ビジョンの概要 | 3 |
| (2) 令和7年度重点施策 | 5 |

2 福井県とSDGsの関わり

- | | |
|------------------|----|
| (1) 福井県のSDGsの取組み | 8 |
| (2) 福井県環境基本計画 | 10 |

3 福井県グリーンボンドのご紹介

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 令和6年度 グリーンボンド発行概要 | 12 |
| (2) 令和6年度 グリーンボンド投資表明投資家 | 13 |
| (3) 令和6年度 資金充当状況・環境改善効果 | 14 |
| (4) 令和6年度 資金使途詳細 | 15 |

1 福井県の目指す姿

(1) 福井県長期ビジョンの概要

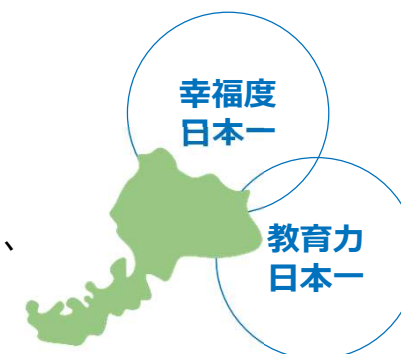
■ 福井県長期ビジョン [2025年3月改定版]

■ 基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！

▶ 安心と信頼のふくい

先人たちが守り伝えてきた歴史・文化、豊かな自然や食、家族や地域のつながり、充実した子育て・教育環境、安定した産業・雇用など



■ 2040年に福井県が目指す姿

SDGs（誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会）の理念に沿いながら、3つの姿を目指します

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

変化をチャンスに、しごととくらしを創造。

基本
目標

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

県民誰もが豊かなくらしを楽しみ、そのイキイキとした姿やまちの魅力が人を呼び込み、地域がにぎわい、それがまた県民の誇りにつながる。

(1) 福井県長期ビジョンの概要

■ 基本方向

／＼ とんがろう、楽しもう、ふくい ／＼

- ・誰もが自分らしく生きられる「安心の居場所」と「活躍の舞台」のある「日本一の幸せ実感社会」を実現し、
- ・一人ひとりのチャレンジとまちの進化を好循環させ、もっとおもしろい「ふくい新時代」をみんなで切り拓いていこう

■ 5つの総合目標

①都道府県幸福度ランキング	総合1位	総合 1位 を維持
②県民の総合的幸せ実感度	7.0点	現状値 以上
③地域への愛着実感度	3.4点	現状値 以上
④合計特殊出生率	全国8位	全国上位 を維持
⑤社会増減（日本人のみ）	▲2,018人	▲ 2,000人 以内

(2) 令和7年度重点施策

次世代に「選ばれるふくい」の実現へ

地域を支える人材育成

- ・ 地域のリーダーを育成する県立大学地域政策学部の開設、「ふくいまちなかキャンパス」の整備促進
- ・ 「ライフデザイン教育」の推進による、地元就職・地元進学の意識向上



まちなかキャンパスを整備する
アオッサ（外観）

投資や人材の呼び込み

- ・ 研究開発型企業などの高付加価値企業を集積させるため、成長が見込まれる企業の投資を支援
- ・ 若手起業家の創出・育成に向けたワークショップの開催や県内ベンチャー企業の成長を応援



福井ベンチャーサミット

「ふく育県」のさらなる推進

- ・ 「ふく育さん」「ふく育タクシー」の利便性向上のため、民間団体等への助成を拡充し、利用者負担を軽減
- ・ ひとり親世帯、多胎児、医療的ケア児等がいる世帯を対象に、「ふく育さん」「ふく育タクシー」で使える共通利用券を発行



ふく育県イメージ

女性活躍の応援

- ・ 「ゆとり時間」を創出するための広報や参加型イベントを開催し、「共家事」や「ラク家事」を促進
- ・ 職場環境づくりや魅力発信、男性育休の取得促進など、女性活躍を推進する企業の取組みを支援



共家事チャレンジ

新幹線効果の最大化・持続化

インバウンドの推進

- ・ 「インバウンド交流課」を設置し、外国人の誘客や宿泊を推進
- ・ 海外のオンライン旅行会社のウェブページにおける特集記事掲載やJRと連携したプロモーションなど、世界に向けて観光コンテンツを発信



外国人向けコンテンツの充実

開業効果の県内全域への波及

- ・ 観光投資促進コーディネーターの配置による民間投資の促進や、インフルエンサーによる情報発信等
- ・ 観光資源を活かしたコンセプトルームの改修など、魅力的な宿泊施設の整備促進



サイクリストに優しい宿

(2) 令和7年度重点施策

各業界における人材確保対策

各業界の人材確保

- ・ 看護師養成施設の学生確保、介護・障がい福祉事業所の職場環境改善、農林水産業や建設産業の担い手確保等、各業界の人材確保を支援



専門工事業体験PR会

外国人材の受入強化

- ・ 海外政府機関との人材交流等の連携や外国人材の受入れを行う企業の環境整備、研修会の実施を支援
- ・ 相談から解決までの支援を行う「総合支援コーディネーター」を配置



インドネシア農業省との覚書締結

長期ビジョンの着実な推進

全世代のチャレンジ応援

- ・ 若者と応援者をつなぐマッチイベントの開催など、若者が変化や失敗を恐れずチャレンジできる学びの場と活動発表の場を提供
- ・ 地域のシニアグループの立ち上げなど、高齢者の居場所づくり、生きがいづくりを支援



高齢者によるグループ活動イメージ

エネルギーを活用した地域活性化

- ・ 県・嶺南市町・民間の出資により、廃炉等で発生するクリアランス推定物を集中処理する新会社を8月に設立



新会社の設立

次世代の農業の担い手の育成

- ・ 嶺南地域における園芸の生産振興や新規就農者の育成・定着のため、「第二ふくい園芸カレッジ」の整備「園芸LABOの丘」の機能強化
- ・ 売上げが1億円を超える経営体の育成のため、経営プランの策定・実行にかかる取組みを支援



第2園芸カレッジのイメージ

文化芸術活動の充実

- ・ 文化芸術に関する相談・助言・人材育成のため「ふくい文化創造センター」を開設
- ・ 担い手不足により保存・継承が危惧される地域の伝統行事の活性化への支援
- ・ 美術館や博物館の機能強化に向けた基本計画の策定



文化芸術活動の助言等を行う様子

2 福井県とSDGsの関わり

(1) 福井県のSDGsの取り組み

■ 福井県SDGsパートナーシップ会議を令和2年8月に創設

長期ビジョンに掲げたSDGsの理念に沿って持続可能な地域づくりを推進する官民連携プラットフォーム

【活動コンセプト】 **未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～**

- ・ 1,310の機関（企業、団体、教育機関、自治体など）が参画
- ・ フォーラム（年1回）や交流会を開催、SNSを活用した情報発信

■ SDGsフォーラム2025の開催（令和7年度）

- 1部：講演会（講師：福井県出身美術家 長坂真護氏）
- 2部：SDGsパートナー企業・団体の取組紹介・交流会
- ▶ 企業や団体等におけるSDGs実践の連携のきっかけづくり



■ 県民からの公募によりオリジナルロゴマークを作成

- ・ 令和2年度 デザイン公募（応募総数 467件）
- ・ 令和3年度 愛称公募（応募総数 1,152件）
- ・ パートナーが名刺やHPに掲載、ロゴマークを活用した商品を開発・販売



愛称: ジュナナ

■ SDGs未来都市への選定（令和3年5月）

【テーマ】「次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現」

「福井の未来を担う次世代の育成」を取り組みの中心に位置づけ、官民一体となって人材育成

(1) 福井県のSDGsの取り組み

■ 県民×企業×行政の協働推進体制を強化

- ・令和5年度 SDGsディレクターとSDGsコーディネーター（3名）を配置
- ・企業や団体を訪問し、課題発掘や解決に向けた具体的な連携の提案・サポート等を実施



トヨシマセンイの残反を活用し、
ジャパンポリマークがリペアパッチを開発

■ 教育機関とSDGsパートナーの連携を促進

- ・令和3年度 学校との連携に積極的なパートナーのリストを作成し、HPで公開
- ・パートナー登録企業等が持つ技術やノウハウ、ネットワークを活かして、環境面の課題である「地球温暖化対策」をテーマに子どもたちが楽しみながら学ぶことができるボードゲームを作成し、出前授業を実施



■ ふるさと納税を活用し、SDGsパートナーの活動を応援

- ・パートナーのSDGs関連商品、活動の背景・目的を紹介し、県内のSDGs活動を全国に発信



県産間伐材を使用した若狭塗箸

(2) 福井県環境基本計画

- 本県は、「福井県環境基本条例」の基本理念に基づき、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、1997年に福井県環境基本計画を策定
- 地球温暖化対策など持続可能な社会の実現に向けて、これまでの施策の成果や県民意識の変化も踏まえ、2023年に新たな計画を策定

福井県環境基本計画(2023年度～2027年度)

基本目標：次世代につなぐ豊かで美しいふくいの環境

地球温暖化対策の推進

【削減目標】

- ✓ 2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す
- ✓ 2030年度の温室効果ガス排出量を49%削減（2013年度比）
- エネルギー源の転換、省エネの推進等
- 再生可能エネルギーの導入拡大
- 森林等の吸収源対策
- 適応策の推進
- 県の事務・事業における温室効果ガス排出削減

自然と共生する社会づくりの推進

- 自然とふれあう活動の推進
- 里山里海湖の自然再生と活用
- 生物多様性の保全

生活環境の保全

- 一般廃棄物の減量化とリサイクル推進
- 産業廃棄物の減量化とリサイクル推進
- 廃棄物の適正な処理の推進

循環型社会の推進

- 水・大気環境の保全
- 化学物質対策の推進
- 放射性物質の監視

各分野に共通する施策の推進 (環境を支える人づくり・地域づくり)

- 誰もが学べる環境教育の推進
- 活力と資源が最大限に活かされる地域づくりの促進
- 環境に配慮した活動の促進

3 福井県グリーンボンドのご紹介

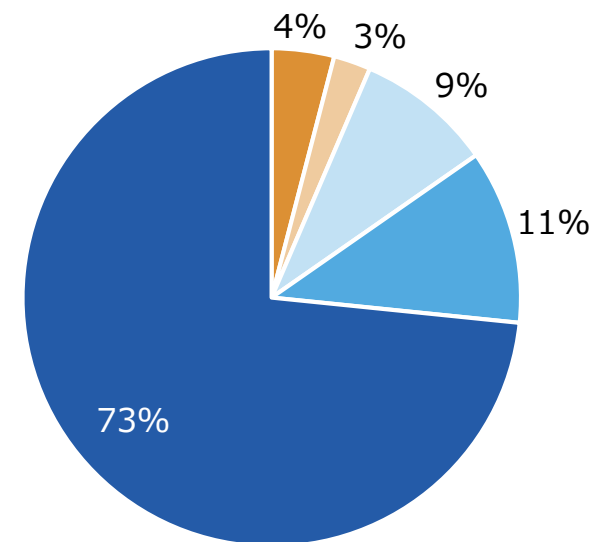
(1) 令和6年度 グリーンボンド発行概要

令和5年度に引き続きグリーンボンドを発行

- 本県では、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、気候変動への適応策を推進。これらの施策を推進するための資金調達として、グリーンボンドを発行

発行概要		
	第6回公募公債	第7回公募公債
名称	福井県令和6年度第6回公募公債 (グリーンボンド)	福井県令和6年度第7回公募公債 (グリーンボンド)
発行額	76億円	24億円
発行日	令和6年10月25日	令和7年2月21日
償還日	令和16年10月25日	令和17年2月21日
利率	1.038%	1.366%
発行価格	額面100円につき100円	額面100円につき100円
期間	10年(満期一括償還)	10年(満期一括償還)
主幹事	SMBC日興証券(事務)、大和証券、野村証券、みずほ証券	
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)から、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得	

投資表明投資家の内訳
(第6回債と第7回債の合算)



■ 中央公的 ■ 地銀 ■ 系統下部
■ 地方公的 ■ 諸法人

(2) 令和6年度 グリーンボンド投資表明投資家

- 令和6年度のグリーンボンドでは第6回債での投資表明93件、第7回債での投資表明31件と、令和5年度の80件を上回る多くの投資家から福井県の取り組みに賛同・共感をいただきました

令和6年度 グリーンボンド投資表明投資家 第6回債93件、第7回債31件

10月債						2月債					
県内投資家			県外投資家			県内投資家			県外投資家		
No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名
1	株式会社秋吉グループ本部	28	社会福祉法人千寿会	54	福井信用金庫	1	あぶくま信用金庫	1	芦原温泉 上水道財産区水道事業	1	会津よつば農業協同組合
2	あわら市	29	第一テック商事 株式会社	55	福井テレビジョン放送 株式会社	2	いちい信用金庫	2	あわら市	2	桑名三重信用金庫
3	あわら市土木部上下水道課	30	大栄 株式会社	56	福井鋸螺株式会社	3	一般社団法人川口薬剤師会	3	越前たけふ農業協同組合	3	神戸市公立大学法人
4	池田町	31	株式会社ダイエイ	57	福井ボイラー工業株式会社	4	一般財団法人 簡易保険加入者協会	4	エフケーユーテクニカル株式会社	4	但馬信用金庫
5	社会福祉法人一乗谷友愛会	32	株式会社高野組	58	フクビ化学工業株式会社	5	教職員共済生活協同組合	5	共同コンピュータ 株式会社	5	日本コープ共済 生活協同組合連合会
6	井上商事株式会社	33	社会福祉法人長寿幸元会	59	富士経編株式会社	6	株式会社ジェスクホリウチ	6	有限会社 小松製材所	6	株式会社日本貿易保険
7	株式会社岩佐土建	34	株式会社 土田鶏卵	60	株式会社 北陸環境科学研究所	7	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター	7	坂井市	7	株式会社山口銀行
8	永平寺町	35	株式会社デリーエッグツチダ	61	株式会社 ホテルまつや	8	独立行政法人 住宅金融支援機構	8	株式会社 シー・アンド・エム		
9	越前たけふ農業協同組合	36	株式会社TOP	62	株式会社 松文産業株式会社	9	水郷つくば農業協同組合	9	株式会社 柴田商事		
10	越前町	37	富田商事株式会社	63	株式会社マルツ電波	10	地方職員共済組合	10	島田自動車工業 株式会社		
11	越前三国競艇企業団	38	株式会社 ニシデ・コンストラクション	64	三崎屋電工株式会社	11	東濃西部広域行政事務組合	11	社会福祉法人 双和会		
12	株式会社FBCアドサービス	39	株式会社 西村組	65	南越前町	12	一般社団法人 東邦大学薬学部鶴風会	12	西村建設 株式会社		
13	おい町	40	日光産業株式会社	66	森口建設株式会社	13	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会	13	福井県高等学校教職員組合		
14	社会福祉法人大野和光園	41	日本エフ・アール・ピー株式会社	67	株式会社文珠四郎管工商会	14	日本コープ共済 生活協同組合連合会	14	福井県市町総合事務組合		
15	オカモト鐵工 株式会社	42	株式会社半澤組	68	株式会社 山内スプリング製作所	15	日本再共済 生活協同組合連合会	15	福井県理美容学園		
16	社会福祉法人 かすみが丘学園	43	東角建設 株式会社	69	吉岡幸株式会社	16	株式会社日本貿易保険	16	一般社団法人 福井人絹倶楽部		
17	社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会	44	株式会社福井銀行	70	ヨシダ工業株式会社	17	根上工業 株式会社	17	株式会社 福井新聞社		
18	北山設備 株式会社	45	福井県医師信用組合	71	医療法人 嶺南こころの病院	18	兵庫県	18	福井信用金庫		
19	共同コンピュータ株式会社	46	公益社団法人 福井県看護協会	72	公益財団法人 歴史のみえるまちづくり協会	19	一般財団法人 藤沢市開発経営公社	19	福井鋸螺株式会社		
20	株式会社 クオードコーポレーション	47	福井県勤労者互助会			20	北菱電興株式会社	20	福島織物 株式会社		
21	株式会社 グランディア芳泉	48	福井県市町総合事務組合			21	株式会社みなと銀行	21	医療法人福仁会		
22	税理士法人 合同経営会計事務所	49	学校法人 福井県自動車学園					22	北陸トラック運送株式会社		
23	合同設備工業株式会社	50	公益財団法人 福井県グローバル人材基金					23	株式会社 文珠四郎管工商会		
24	株式会社コープサービス福井	51	福井コンピュータホールディングス 株式会社					24	医療法人 嶺南こころの病院		
25	酒伊編織株式会社	52	一般社団法人 福井人絹倶楽部								
26	社会福祉法人慈光保育園	53	株式会社 福井新聞社								
27	清水工業株式会社										

(五十音順)

(3) 令和6年度 資金充当状況・環境改善効果

北陸新幹線の整備、足羽川ダムの整備及び災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備を中心に資金を充当

ICMA原則上の事業区分	充当事業	充当額（百万円） （充当割合）	想定される環境改善効果
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 （北陸新幹線負担金）	1,306（13.1%）	■ 59,000t-CO2/年*
エネルギー効率	■ 照明のLED化 （長寿命化対策事業（県立高校））	36（0.4%）	■ 整備箇所：3箇所 ■ 導入台数：445台 ■ 電力削減量：34,229.8（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：16.7（t-CO2/年）
	■ 照明のLED化 （LED式交通信号灯器移行事業）	270（2.7%）	■ 導入台数：車両灯器 659台 歩行者用灯器 652台 ■ 電力削減量：711,105.3（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：346.3（t-CO2/年）
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 公共施設等の木造化、木質化の 推進（県立高等学校寮整備事業）	828（8.3%）	■ 県産木材の使用体積 ・丸岡高校寮：138.37m ³ ・美方高校寮：121.44m ³
	■ 公共施設等の木造化、木質化の 推進（駐在所等整備事業）	155（1.6%）	■ 県産木材の使用体積 ・越前たけふ駅前交番：21.86m ³ ・今立分庁舎：15.92m ³
気候変動への適応	■ 河川改修、ダムの整備 （足羽川ダム）	1,944（19.4%）	■ ダム本体打設：約69万m ³ ■ 導水トンネル：4,717m ■ 付替県道：約6.1km ■ 浸水面積：約77km ² 減 ■ 浸水戸数：約32,000戸減 ■ 床上浸水戸数：約19,000戸減
	■ 災害時の緊急輸送道路となる 中部縦貫自動車道の整備	5,461（54.6%）	■ 整備距離：大野～油坂間35km
合計		10,000（100%）	

※独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線（金沢・敦賀間）事業に関する再評価」を参照

(4) 資金使途詳細 ～北陸新幹線の整備～

北陸新幹線金沢・敦賀間の開業に伴う高架下整備や騒音・振動対策を実施

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 (北陸新幹線負担金)	■ 北陸新幹線金沢・敦賀間の整備 (R6.3.16開業) － 高架下整備、開業後の騒音・振動対策	■ CO2排出削減量： 59,000t-CO2/年*

※独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線（金沢・敦賀間）事業に関する再評価」を参照

北陸新幹線の整備（北陸新幹線負担金）

金沢・敦賀間（福井県内区間）の工事概要

整備期間	2012～2027年度
総工事費	約1兆6,779億円 (うち県内事業費：約1兆1,200億円)
工事延長	114.6km (うち県内区間：74.4km)

整備の状況

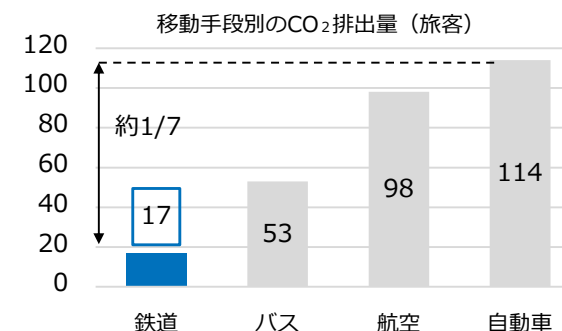
- 新幹線開業に伴うインフラ整備の一貫として、高架下整備、開業後の騒音・振動調査を実施
 - － あわら市、坂井市、福井市、鯖江市、越前市、南越前町、敦賀市



(整備例) 福井市・高架下整備

環境改善効果

- 新幹線をはじめとする鉄道は、輸送量当たりの二酸化炭素 排出量（旅客）が、航空の約1/5、自動車の約1/7であり、他交通機関と比べて環境に優しい交通機関
- 北陸新幹線の延伸（金沢・敦賀間）により航空機、バスや自動車から新幹線に旅客が転移した場合、年間約59,000t-CO2の排出量削減が見込まれる



出典：令和元年度温室効果ガス排出量（確報値）について（令和3年4月 環境省）

(4) 資金使途詳細 ～照明のLED化～

照明のLED化などを進め、時代に即し、環境に配慮した県有施設を整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
エネルギー効率	■ 照明のLED化 (長寿命化対策事業 (県立高校))	■ 蛍光灯からLED照明への更新	■ 整備箇所：3箇所 (勝山高校、敦賀工業高校、武生商工高校) ■ 導入台数：445台 ■ 電力削減量：34,229.8 (Kwh/年) ■ CO2 排出削減量：16.7 (t-CO2/年)
	■ 照明のLED化 (LED式交通信号灯器移行事業)	■ 電球式信号灯器からLED式信号灯器への更新	■ 導入台数：車両灯器 659台 歩行者用灯器 652台 ■ 電力削減量：711,105.3 (Kwh/年) ■ CO2 排出削減量：346.3 (t-CO2/年)

照明のLED化 長寿命化対策事業 (県立高校)

- 勝山高校、敦賀工業高校、武生商工高校 3 校の蛍光灯をLED照明へ更新
- 総導入台数 445台のLED照明により、年間で電力削減量約3万4千Kwh、CO2排出削減量16.7tの効果を見込む



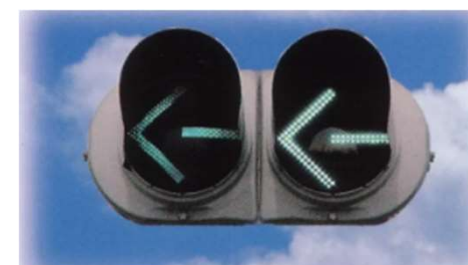
蛍光灯



LED照明

LED式交通信号灯器移行事業

- 福井県内の交通信号へのLED照明の導入
- 車両灯器 659台、歩行者用灯器652台の計1,311台の更新を実施
- 年間で電力削減量を約71万1千Kwh、CO2排出削減量346.3tの効果を見込む



電球式信号灯器 LED式信号灯器



電球式信号灯器
(すべてが点灯しているように見える)

LED式信号灯器
(正常に見える)

(4) 資金使途詳細 ～県立高等学校寮・駐在所等整備事業～

県産木材による木造化・木質化を進め、時代に即し、環境に配慮した県有施設を整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 県立高等学校寮整備事業	■ 丸岡高校及び美方高校に木造の寮を建設	■ 県産木材の使用体積 ・ 丸岡高校寮：138.37m ³ ・ 美方高校寮：121.44m ³
	■ 駐在所等整備事業	■ 県産木材を活用し、老朽化した交番等を建替え	■ 県産木材の使用体積 ・ 越前たけふ駅前交番：21.86m ³ ・ 今立分庁舎：15.92m ³

県立高等学校寮整備事業

- 2025年3月、丸岡高校「桜霞寮」及び美方高校「清明寮」が完成
- 県として県産木材の利用拡大を推進しており、木造とすることで環境への配慮と、暖みのある木材を使用することで子どもたちの成長を温かくサポート
- 生徒の居室を個室化することで生徒のプライベート空間を確保



丸岡高校寮 桜霞寮



美方高校寮 清明寮

駐在所等整備事業

- 2025年2月、越前たけふ駅前交番及び今立分庁舎が完成
- 県産木材を活用することで環境への配慮と、周辺地域と調和したまちなみ景観を目指しつつ、社会情勢や地域の安全安心に配慮



越前たけふ駅前交番



今立分庁舎

(4) 資金使途詳細 ～足羽川ダムの整備～

水害被害の防止・減少を図るため足羽川ダムを整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
気候変動への適応	河川改修、ダムの整備（足羽川ダム）	調査設計、用地補償、工事（整備工、改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工）	- ダム本体打設：約69万m^3 - 導水トンネル：4,717m - 付替県道：約6.1km - 浸水面積：約77km^2減 - 浸水戸数：約32,000戸減 - 床上浸水戸数：約19,000戸減

足羽川ダムの整備

- 福井市街地を流れる足羽川沿川は、人口及び資産が集中し、JR福井駅や県庁をはじめとする各行政機関が設置されており、県内の社会経済活動の中心として重要な役割を担う
- 足羽川、日野川、九頭竜川の下流地域を水害から守るために、九頭竜川水系足羽川支川の部子川に治水専用ダムを建設

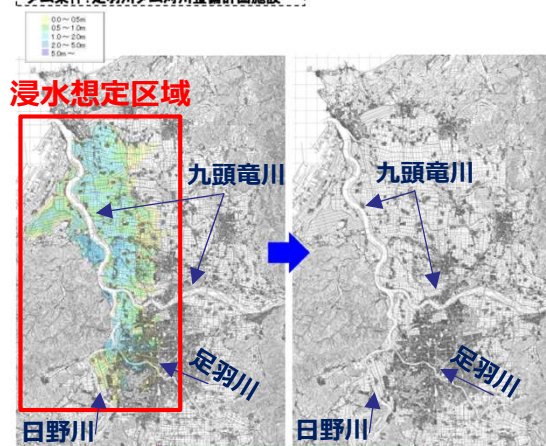


足羽川ダム整備による浸水被害の軽減効果

- 河川整備計画規模（1/80）の降雨が生じた場合では、平野部の浸水被害が解消

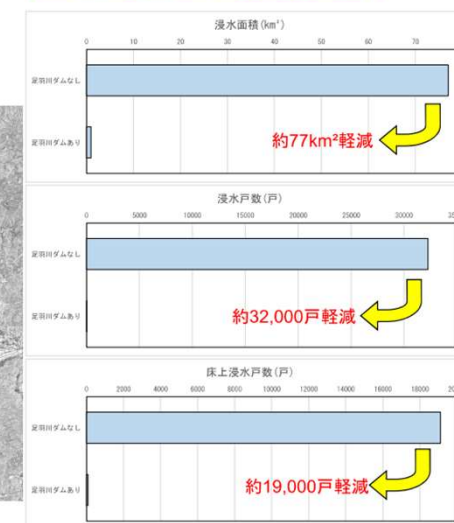
足羽川ダム建設事業による浸水深の軽減

＜氾濫計算条件＞
河道：河川整備計画完了時河道
ダム条件：足羽川ダム河川整備計画施設



平野部では浸水被害が解消

足羽川ダム建設事業による浸水被害の軽減



※ 山間部の一部においては浸水が生じる可能性があります。

ダム整備前

ダム整備後

(4) 資金使途詳細 ～緊急輸送道路 中部縦貫自動車道の整備～

大雨や大雪など、自然災害発生時の代替道路となる中部縦貫自動車道を整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
気候変動への適応	災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備	調査設計、用地補償、工事（改良工事、舗装工事、橋梁工事、トンネル工事）	整備距離：大野～油坂間35km

災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備

- 大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成する、大野市東市布から中津川に至る約35kmの自動車専用道路
- 高速道路ネットワークを形成するとともに、安定した交通の確保、地域・観光資源を活かした地域経済の活性化、医療活動の支援を目的とする。現在、国土交通省によって整備が進められている

中部縦貫自動車道の整備効果

北陸圏、関東圏、中京圏、関西圏を結ぶ 広域ネットワークの構築

- 移動時間・距離の短縮
- 災害時における広域的な迂回路の確保



地域経済の活性化 ～企業立地の促進・観光客の増加～

- 企業立地の促進と市場の拡大
- 観光客の誘致促進・増加



地域生活の安全・安心の確保

- 医療機関へのアクセス向上
- 安定した交通路の確保



福井県債に関するお問い合わせ先

- 福井県 総務部 財政課
- 住所 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号
- TEL 0776-20-0234
- FAX 0776-20-0629
- Email : zaisei@pref.fukui.lg.jp
- HP : <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/zaisei09.html>

